

# BCP対策 2024年度の取り組み

みなと舎では、昨年度BCP作成委員会「紡ぎ会」を立ち上げました。BCPとは大規模震災などの「自然災害」や「感染症拡大」が起きたときに、事業を継続するための計画書のことで。みなと舎のBCPでは、「災害が起きても、地域で生きるメンバーさんが、地域とともに当たり前の日常を、出来るだけ早く取り戻す」ことを目指しています。今年度の活動は、2024年度版のBCP完成へむけて、昨年度版の更新とパー

ジョンアップです。「備蓄品」や「建物」の再点検のほか、地域との連携をテーマに近隣のコンビニで地元消防署員指導の下、合同訓練なども実施しました。さらに、「ゆう」と「ライフゆう」を地域避難所と想定し、避難所生活時の「生活の質(環境面)」を下げない工夫も検討中です。BCP「紡ぎ会」の活動に終わりはなく、毎年備えを強化していきます。



- B Business**(事業)
- C Continuity**(継続)
- P Plan**(計画)

# 令和6年 能登半島地震への支援活動として

令和6年能登半島地震への支援活動として、みなと舎では令和6年度「物資の支援」「義援金の支援」、そして「人的派遣の支援」を行いました。特に「人的派遣の支援」は神奈川県知的障害施設団体連合会の派遣要請に対し、職員4名、関係者1名の5名の派遣を9月~11月にかけ、延べ49日間行いました。派遣先は輪島市と能登町の施設や仮設住宅の支援活動に入りました。

知的障害者施設の応援派遣では、経験のない自分が役に立てるか不安でした。職員の方、利用者の方に心温かく迎えてくださり、短い期間の中で逆に助けられた場面も多く、別れが本当に名残惜しく感じました。また、派遣先の施設での最大の問題は、人員不足です。現地で働く職員の方々は震災前より少ない人員配置で「利用者さんの生活リズムを何とか整えてあげたいと必死でやっている中、神奈川からの応援のおかげで職員が休めたり、利用者さんもおかわりが増えて楽しそうに本当ありがたい」と期間中何度も感謝のお声を頂きました。現地の方々は、この神奈川の派遣が終了する事をとても心細く感じておられる様子でした。



スタッフN

知的障害者施設の応援派遣で多くを学ばせて頂きました。知的障害者施設での経験がなかったので、最初は少し怖いという気持ちが大きかったです。そんな中で心配や緊張を和らげてくれたのは利用者さんでした。「どこから来たの?」と話しかけてくれたり、「ここに片付けるんだよ」と困っている私をたくさん助けてくれたりもしました。また、職員と利用者さんとの信頼関係の大切さを学びました。利用者さんは、職員のことをよく見ていて、職員の愛情があるかをわかっているのではないかと感じました。



スタッフI

仮設住宅支援に参加しました。要配慮者の仮設住宅に訪問して、「話し相手はいるか、孤立していないか」「心身ともに不調はないか」「社会資源にアクセスできているか」などを確認する事が目的でした。そこに住む方々のお話を聞き、気持ちを吐き出してもらうことも大切な事だと思いました。また、訪問のペアを組んだ方が、自身も被災されている輪島の方でしたが、親身になって優しい声掛けをされていて、私が思いつきもしないアプローチの仕方など目から鱗が落ちる思いでした。



スタッフY

大変貴重な機会を頂き感謝しております。1週間と短い期間ではありましたが、現地の人たちと関わることが出来ました。その経験を今後の自分の糧としていきたいと思えます。また機会があれば協力したいと考えております。

# みなと舎の広報活動1年間

年間を通じて、様々なカタチで広報を進めてまいりました。その全てのツールから発信されるトピックスは、メンバーさんがスタッフとともに毎日かけがえのない日々をしっかりと歩み続けてきた軌跡であり、みなさまにお伝えしていくことも私たちの使命のひとつであると認識しています。

## 1 たまごむしの発行 各号テーマを設定した情報発信

本誌で115号となりました! 季刊ベースでの発行となることで大きなイベントを中心にテーマ性を持たせた誌面でメンバーさんとスタッフの話題をお伝えしてきました。



発行部数 2,000部



## 2 SNS発信の充実 日々の出来事を発信

2022年9月よりスタートしたInstagramは、今や投稿は800件を超え、フォロワーは1,000人に届きそうな勢いとなってきました。日々のメンバーさんとの出来事やイベントは、ひとつひとつがかけがえの無い一日の出来事です。そのキラキラやワクワクな出来事を余す所なくスタッフが発信し続けて来たことは、毎日がドラマであり、みなと舎での生活の魅力のひとつとなっているのかもしれない。

投稿数 827件 フォロワー数 985人 (2025年3月12日時点)

## 3 ホームページの更新 毎月の活動の様子を発信

ホームページ内の日記では、日常の様子からトピックスとして掘り下げつつメンバーさんのことやスタッフのこと等をご紹介します。

|                          |          |
|--------------------------|----------|
| ホームページ閲覧数                | 94,467PV |
| みなと舎日記閲覧数                | 30,699PV |
| (2024年4月1日~2025年2月28日集計) |          |

## 4 はまかせ「みなと舎物語」の定期寄稿

地域の皆様へ、みなと舎の取り組みや考え方を伝える場として定期的に寄稿してまいりました。またみなと舎の想いに賛同して一緒に働いてくれる仲間を募集する求人情報も載せる場でもあり、読者との繋がりを求める場でもありました。



連載第50回 目前!!

## 5 イベントへの出展 イベントテーマに沿った広報

横須賀市障害関係施設協議会の福祉カフェなど、年間通じて数回にわたり、さまざまなイベントに参加し、みなと舎の法人情報を紹介しつつ、利用者さんや求人の募集等を広報してまいりました。



## 6 看護職向けミニ冊子の作成

従来の看護職のイメージとは異なる重症心身障害児者への看護の携わり方として、どんな風に違うのかをお伝えするツールを作成しました。



発行部数 2,000部

## 7 求人募集広告の掲載、チラシの発行

求人誌「アイデム」や単独チラシの作成を行い、新聞折込や周辺地域へのポスティング配布をしました。見学会の実施や職場体験、実習、インターンシップ等を通じて多様な方々へ、みなと舎の魅力をお伝えしつつ、求職者の働くイメージを広げられるような取り組みに励んでまいりました。

見学者数 30名 入職者数 20名 (2024年4月~2025年1月までの実績)

公式サイト みなと舎では一緒に働くスタッフを募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.minato-yuu.or.jp> **社会福祉法人 みなと舎** 検索

求人問い合わせ: 渡邊 TEL: 046-855-3911 FAX: 046-855-3912

# SSKU たまごむし

社会福祉法人「みなと舎」広報誌

社会福祉法人みなと舎・メンバー後援会 編集責任者 松田直  
〒240-0104 神奈川県横須賀市芦名2-8-17  
tel.046-855-3911 fax.046-855-3912



## 5年ぶりのゆうプロ「オープンデー」

2024年11月23日(土)、ゆうプロ「オープンデー」が2019年以来、実に5年ぶりに開催されました。以前と変わらず大盛況となりました。メンバーさんのお店、ゲーム、バザー、近隣の畑でとれた野菜の販売、他事業所からの出店、理事長自らが焼くフラックフルト店など、様々な出店がなされました。これらの出店はスタッフやメンバーさんのお家族、ボランティアさん、近隣の住民の方々など本当にたくさんの方に協力していただきました。

今回は特別にパラグアイハーブ「アルパ」の演奏会もありました。出演は、2024年度4月から12月まで来てくださっていた音楽療法の先生です。とても綺麗な音色で、楽しい演奏でした。珍しい楽器のため、生で見る事はなかなかないと思うので、貴重な体験ができました。締めは、ゆうプロ恒例の大抽選会。今回の景品も豪華なものがたくさんあり、大好評でした。来年のゆうプロが待ち遠しいです。

ゆう支援スタッフ 高坂真純



「たまごむし」の「ゆうロゴ」

実は私が作っています!

- ゆう 5年ぶりのゆうプロ「オープンデー」
- ライフゆうラボ ラボ20歳のお祝い
- ライフゆう ぼんぼやーじゅ スカイツリー
- ケアホームはなえみ 大楠地区健民運動会
- ゆう ゆう防災訓練
- ライフゆう 葉山防災フェス
- 法人本部 BCP対策 2024年度の取り組み 令和6年能登半島地震への支援活動として みなと舎の広報活動1年間

# Twenty

ラボ

## 20歳のお祝い

### congratulations!

たくさんの人に  
お祝いしてもらって  
嬉しいなあー!

ほせぎかずま  
柵木和磨さん



おめでとー!

ドキドキ!  
大人の仲間入り!

すぎもとかつき  
杉本捷樹さん

にぎやかで  
とっても楽しいな!  
みんなありがとう!

むらのあおい  
村野碧さん



ライフゆうラボ  
支援主任  
松代桃子

ラボでは、村野碧さん・柵木和磨さん・杉本捷樹さんの3名が二十歳を迎えました。1月13日に、二十歳を祝う会を行いました。今年は鏡開きでお祝いです。「太鼓隊」の雄大な太鼓演奏が、お祝いムードをさらに盛り上げてくれました。杵を大きく振り下すと、中から、日本酒、シャンパン、ビールが登場! ライフゆうのメンバーさんも参加し、にぎやかなお祝いとなりました。みなさん、おめでとうございます! これからもラボで楽しい時間を一緒に過ごしましょう。

太鼓演奏

鏡開き



## ぼんぼやーじゅ スカイツリー

ライフゆう開所10年目にして初めてのバス旅行が実現しました。行先は「スカイツリー」。メンバーさん7名、スタッフ14名、計21名で行ってきました。準備をしっかりと整えてみんな元気に思いっきり楽しめました。メンバーさんの素敵な笑顔が輝いていました。この楽しみをみんなで共有していきたいので、今後もバス旅行を続けていきます。これからも彩りある人生を、楽しいと思える瞬間を、メンバーさんと一緒に過ごしていけるよう楽しみながら頑張っていきます。応援よろしくお祈りします。ぼんぼやーじゅ!!

ライフゆうイベント係 石渡和夏子



ワクワクするね!



バスの中は大盛り上がり☆



なぞなぞ出すよ〜!



集合写真を撮りました!

ライフゆう  
開所10年目  
念願のバス旅行!!



お昼ごはんは  
ラーメン!  
美味しかったよー!



完食しました!



とっても楽しいな!



わあ、高〜い!!



ソラカラちゃんと一緒にハイ!ポーズ☆



クリスマス  
の  
かわいい  
映えスポットで!



最高の眺めを背景に撮影!



## 大楠地区健民運動会

ケアホーム  
はなえみ

2024年10月13日(日)、大楠中学校で開催された『大楠地区健民運動会』にケアホームメンバーさん7名で参加してきました。当日は晴天に恵まれ、絶好の運動会日和。メンバーさんはパン食い競争に参加し、芦兵衛さんの美味しいパンをゲット! ライフゆう看護部長とドクターが気合を入れて臨んだ声名代表の応援合戦も楽しみました。ライフゆうのメンバーさんや、大楠地区に住む学齢デイのメンバーさん等も遊びに来て、みんな一緒に大盛り上がり! 大楠地区の住民として参加しているみなと舍スタッフたちもおり、懐かしい顔も見れたり笑顔あふれる一日となりました。

ケアホームはなえみ管理者 里吉めぐみ  
みんな一緒に  
仲良くゴール!



フレ〜!  
フレ〜!

ゆう

たくさんのごき  
教えていただきました!

## ゆう防災訓練

10月半ばの秋晴れの日、南消防署西分署員の皆さまのご協力の下、セブナイレブンさんとの合同防災訓練を実施しました! 非常ベルの合図でメンバーさんと息を合わせてセブナイレブンさんの駐車場へ避難し、点呼ののち水消火器で消火訓練の体験をしました!

法人本部事務課長 渡邊雄一郎

## 葉山防災フェス

ライフ  
ゆう

葉山町にある一色小学校で行われた防災フェスに行ってきました。一緒に写真を撮ったり、挨拶をされたり、ミニ消防車にも乗せてもらったりと沢山の人の交流も楽しみました。最初は緊張気味な様子でしたが、だんだんと表情が和らぎ、笑顔がみられました。防災で大切なことは知り合い作りです。楽しみながら、いろいろの方たちと知り合いになりたいと日々思っています。

ライフゆう支援スタッフ 石井真梨乃



撮  
っ  
た  
ら  
ん  
字  
真  
実  
を  
!

消防士さんの帽子を  
被せてもらいました☆

ドキドキ!